

新学長に伊藤 変革センター長



千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344
<https://www.it-chiba.ac.jp/>
毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド	
2面	黄金井さんファイバレーザ研究で国際賞／赤城さん井澤さん生化学会支部で発表賞／新学部学科4月開設／令和6年度入試日程表
3面	吉田さん大澤さん県産品パッケージ新／村上研と環境科学研が環境月間に出展／黒澤上席研究員 Qiballで講演／ベスト・ティーチャー賞に中村助教／名誉教授に小峯氏
4、5面	令和4年度決算を承認／学生共済会予算、決算を承認
6面	令和5年度PPA総会開く、地区懇談会の会場一覧／出版案内

故松井孝典学長の死去に伴い、本学は5月30日に開いた理事会で次期学長の選出について審議し、伊藤穰一評議員・変革センター長(57)に写真IIの次期・第14代学長就任を満場一致で決定した。任期は令和5年7月1日から令和9年6月30日まで。

理事会、満場一致で 第14代・任期4年



■伊藤学長略歴

デジタルアーキテクト、ベンチャーキャピタリスト、起業家、作家、学者として、主に社会とテクノロジーの変革に取り組む。

ラボの所長を務めた。非営利団体クリエイティブコモンズの最高経営責任者のほか、ニューヨーク・タイムズ、ソニー、Mozilla財団、OSI、ICANN、電子フレイバシー情報センター(BPIC)などの取締役を歴任。デジタルガレージ共同創業者 取締役 Director

Architect、デジタル庁「デジタル社会構想会議」および「web3研究会」構成員、経済同友会「企業のDX推進委員会」委員長。21年11月に本学変革センターのセンター長に就任。翌年1月に本学評議員となった。

学長選出は「千葉工業大学学長選出規程」に基づいて行われた。3月28日開催の理事会で、故松井孝典学長の死去に伴う後任について、学長候補者選考委員会を設置して選考することを確認、そのうち委員会を立ち上げ、学長候補者の選考を諮問した。

5月20日、学長候補者選考委員会より学長選出規程第7条「委員会は、学長候補者の中から2名以内を決定し、理由を付して理事長に推薦するものとする」の規定に基づき、次期学長に伊藤穰一氏がふさわしいとして理事長に推薦した。

瀬戸熊理事長は5月30日の理事会で、寄附行為第19条第2項の規定により、令和5年7月1日付で伊藤穰一氏を千葉工業大学第14代学長に選任したいと諮り、理事会は満

場一致で伊藤穰一氏の学長就任を決定した。

■伊藤氏就任あいさつ
千葉工業大学学長に就任するにあたり、「建学の精神」を尊重し、その文化と伝統を守りながら、大学のさらなる飛躍と、世界が抱えているさまざまな課題に取り組んでいきたいと考えています。

2021年から変革センターのセンター長に就任し、日本初のアンチデザインリナリー(脱専門性) 研究施設において、web3や人工知能などの分野の研究を進め、社会をより良くしていくための新しい知の技術的プラットフォームや文化的なアウトプットの想像・設計・構築をしてまいりました。こうした取り組みを通じて、より一層、千葉工業大学の良さが理解できて来たと思えます。

現在、さまざまな技術革新が生まれ、また、デジタル化社会やDX(デジタルトランスフォーメーション)が推進されている中、日本が直面している大きな問題の一つは、技術的なスキルを持つ人材の不足と、意思決定・政策立案に参与する技術者の不足です。そのためには各界のサイロの壁を打ち破り、理論に加えて「実践」と「実社会からのフィードバック」が欠かせません。型破りで画期的な研究センターの立ち上げに成功し、手を動かすことを重視する千葉工業

広告賞 連続受賞

創立80周年広告 中日最優秀賞など

本学が昨年、創立80周年記念日に全国紙の朝刊に掲載した広告II写真IIが、第14回中日新聞社広告大賞の専門家による審査会の一紙紙の部で最優秀賞を受賞した。

専門審査員の中島祥文氏は「現在の科学技術の意義について、効果的に読み手に訴えかけている」と評した。同賞は、昨年4月から今年3月までに中日新聞、東京新聞などに掲載された広告が対象で、表彰式は9月の予定。

7月5日には2022年度の第71回朝日広告賞の入賞作品が発表され、〈広告主参加〉新聞広告の部で準朝日広告賞を受賞。審査委員の1人で人気コピーライターの尾形真理子氏は「大学の80周年という、自分たちだけの話にしないで理系の人たちすべてを鼓舞するような原稿になっている」と評した。

このほか毎日広告デザイン賞、第71回日経広告賞(昨年「アニバーサリー部門」も受賞しており、これで歴史ある主な新聞広告賞を軒並み受賞で飾ったことになる。



世界は急速に、異なる方向へ進んでいる。その真ん中に科学技術が存在していることは、否定できない事実である。最先端の技術が、他国の軍拡力を凌駕するために利用される。命を救うための研究が真摯に活用され、いとも簡単に人命を奪う。競争によって、技術革新は進んでゆく。その過程に我々は巻き込まれてきた。しかし、競争者たちよ、今こそ声を上げよう。すべての技術は人間を幸福にするため生まれ、豊かさを生み出すべきだ。科学は人類の未来のためにのみ生かされるべきだ。千葉工業大学



CIT Brains 準優勝

ロボカップ'23フランス大会

自律型ロボットの「ロボカップ2023」世界大会は7月4〜10日、フランス南西部ボルドーのエキシビジョンセンターに45カ国2500人が参加して開かれ、サッカー・ヒューマンノイドリーグ・キッドサイズ部門で千葉工大「CIT Brains」チームII写真IIが準優勝した。昨年に続く連覇は逃した。

(詳細は次頁で)

大学は、この重要な問題と技術者のさらなる社会的地位向上に貢献できることを確信しています。

県特産「なし」出荷箱 吟醸酒ラベルを一新

吉田さん大澤さん ▼JAいちかわ依頼



お披露目会で吉田さん(左)と今野組合長 感謝状を手に大澤さん。下はデザインした吟醸酒のラベル



デザイン科学専攻修士2年、長尾徹研究室に感謝状が贈られた。今年1月、設立60周年を迎えたJAいちかわ(市川市農協)が、記念企画としてブランド力を高めようと、2年前から本

たので、版画のテイストで重量感を表し、梨を食べたときのみずみずしさを表現しました。長く愛されてほしい。吟醸酒ラベルを担当した大澤さんは「値段が5千円と高価なので高級感を目指し、県産「粒盛」米にも記載して地域が盛えるようお願いしました。「粒盛」の文字は今野博之JAいちかわ組合長が書いた。なしは7月下旬から出荷し、ギフト用などで新しい箱が使われる。



象の解明や惑星探査機器開発の実験をしている。この日はガラス張りの科学館の11階(キボール)10階の会場で、隕石標本やリユウグウ粒子の模型を机に並べ、PC画面とマイクで、はやぶさ2開発の話▽近傍観測の成果▽試料分析チームがどう準備を進めてきたか▽普段どんなことを考えて研究しているのか

などを「研究者の視線から説明した。参加者からの質問では弾丸衝突装置(SCI)で形成されたクレターの大きさについてや、自身の研究で今どの部分か「最も尖っているか」など突っ込んだ質問があつて驚いたという。終了後のアンケートで参加者の約8割が「非常に



名誉教授に小峯氏

今年3月に退職した元建築学科教授の小峯裕己氏(写真)に、4月25日

付で千葉工業大学名誉教授の称号が授与された。小峯氏は1988(昭和63)年に助教として本学に就任。以来、35年にわたり本学で教鞭をとり、学術の向上に寄与した。専門は温熱・空気環境など。

環境月間に出展、交流

村上研と環境科学研 ▼水を、生物を守る

水環境の生態系保全をテーマとする生命科学科・村上和仁教授の分子生態学研究室は「環境月間」の6月、3つのイベントに調査成果を出展。文化会・環境科学研究会(田中緑部長)先端材料工学科3年、部員25人も活動ぶりを発信した。▼江戸川区環境フェア

村上研は荒川河口干潟、東京湾沿岸、谷津干潟流入河川などのシジミや珪藻、底生生物の育成、マイクロプラスチックの状況などを広範に調査。房総半島におけるマクロベントス(BMWPスコア



江戸川区環境フェアで村上研

今年10月、習志野市の谷津干潟自然観察センターで開催)今年10月、習志野市の谷津干潟自然観察センターで開催)今年10月、習志野市の谷津干潟自然観察センターで開催)

安全な水を、と環境科学研



性指標調査も実施し、市民目線で環境を評価した。津田沼高校関係者やNPOと交流。NHK千葉放送局の取材も受け、首都圏ネットワークで放送された。▼第26回ふなばし環境フェア 環境にやさしい船舶をめざして考えよう!ふなばし三番瀬(24日、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館で開催、47団体2500人が来場) 海洋プラスチックや地球温暖化、SDGs、食品ロス削減への取り組みが紹介された。晴天の下、本学からは環境科学研と村上研が出展交換ができたという。

ベスト・ティーチャー賞に中村助教

令和4年度後期グッド・レクチャー賞に教員17人が選ばれ写真、その中から教育センターの中村達助教が同年度ベスト・ティーチャー賞に決まり、6月8日の受賞式で表彰された。



過去5回以上ベスト・ティーチャー賞を受賞した教員はDistinguished Teacher、同5回以上グッド・レクチャー賞を受賞した講義はDistinguished Lectureと認定され、令和2年以降は表彰対象から外している。これまでにDistinguished Teacherに認定されたのはプロジェクトマネジメント学科の鴻巣努教授。Distinguished Lectureに認定されたのは未来口教授、高松佑介助教

ポテックス学科の米田完教授、建築学科の石原沙織教授、教育センターの佐藤和教授、市川洋子助教の講義。今年度後期受賞者は次の通り(順不同)。▼ベスト・ティーチャー賞II教育センター・中村達助教 ▼グッド・レクチャー賞II機械工学科・熱海武憲教授、電気電子工学科・山崎克己教授、先端材料工学科・小山和也教授、都市環境工学科・内海秀幸教授、橋本伸一郎准教授、未来口ポテックス学科・大川茂樹教授、知能メディア工学科・森信一郎教授、プロジェクトマネジメント学科・田

事業活動収支計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位：円)

Table with columns: 科目, 予算, 決算, 差異. Rows include 教育活動収支, 教育活動外収支, 特別収支, 基本金組入前当年度収支差額, 事業活動収支差額.

貸借対照表

令和5年3月31日

(単位：円)

Table with columns: 科目, 本年度末, 前年度末, 増減. Rows include 資産の部, 負債の部, 純資産の部.

千葉工業大学決算(令和4年度)を承認

学校法人千葉工業大学の令和4年度決算が、5月30日の理事会・評議員会にて承認された。

1 教育研究活動

- (1)入学試験関係
(2)初年次教育の充実と総合的なサポート体制
(3)習熟度別教育の充実
(4)学修成果の可視化に向けた取り組み

2 研究推進活動

- (1)国または地方公共団体等からの競争的研究資金等の獲得支援
(2)民間からの奨学寄付金及び受託研究費
(3)研究助成関係
(4)外部からの資金獲得

新研究科・専攻の検証と改善に向けた取り組み
(3)包括的連携協定に基づく玉川大学等との連携事業推進

(2)その他(展示、記者発表等)
(5)惑星探査研究センター(PEARC)

惑星探査研究センター(PEARC)は、惑星探査装置の開発、惑星探査データの解析、惑星科学研究及び惑星科学に関する啓蒙を主な活動内容としている。

(1)惑星探査ミッションへの参加
(2)PERC独自の宇宙開発プロジェクト
(3)広報活動、社会貢献活動、資金獲得、研究業績など

(6)人工知能・ソフトウェア技術研究センター(STAIR Lab)
STAIR Labは人工知能とソフトウェア技術を研究・開発する研究センターで、令和4(22)年度末時点で9名の研究員が研究に従事している。

能とソフトウェア技術を研究・開発する研究センターで、令和4(22)年度末時点で9名の研究員が研究に従事している。

人工知能研究では「動作理解できるAIの効率的な開発手法の研究開発」「フライングレイン画像認識のプロジェクト」

「説明可能な人工知能(XAI)の研究開発」の3つのプロジェクトを進めている。ソフトウェア技術研究では、機械学習研究を支援するフレームワークの研究、機械学習技術を活用したプログラムの改善のためのフレームワークの研究、AIエッジデバイス(機械学習等の人工知能機能が搭載された末端型機器)の横断的なセキュリティ評価のための研究の3つを軸に多岐にわたる研究・開発を昨年度より引き続き進め、成果を上げた。

(7)次世代海洋資源研究センター(ORCENG)
世界初の海洋資源開発実現に向けて、海洋資源の探査・揚鉱・選鉱・製錬といった基礎から応用にわたる多様な研究・開発を実施する機関として平成28(2016)年4月に発足。令和4(22)年度は、常勤6名、非常勤4名の研究員が研究に従事した。

(8)地球学研究センター(Geo-Cosmo Inst.)
古代文明の始まりとその発展について、考古学・地球科学を統合したアプローチによる研究を推進する機関として令和元(2019)年7月に発足。古代遺跡の発掘調査や遺跡周辺地の地質調査、発掘された遺物の化学分析等の研究を推進している。令和4(22)年度は

(1)学生支援の充実強化(学生相談課外活動、学生寮、奨学金等)
(2)海外協定大学からの留学生受入促進
(3)留学生在との交流プログラムの充実
(4)海外協定大学からの留学生受入促進
(5)各国政府機関や提携地方自治体との国際化に関する連携

3 学生支援関係

(1)学生支援の充実強化(学生相談課外活動、学生寮、奨学金等)

- ①学生相談(カウンセリグ、学生SA) 女性カウンセラーの配置
②学生自治活動支援の充実(大学創立80周年記念企画)
③学生寮生に対する支援
④奨学金支援活動
⑤障がい学生・グリーゼーション学生支援の充実
⑥学生の派遣及び受け入れ体制の充実

- ①留学生への支援の充実(コロナ禍の未入国対応者対応を含む)
②海外語学研修・インターンシッププログラムの拡充
③留学生在との交流プログラムの充実
④海外協定大学からの留学生受入促進
⑤各国政府機関や提携地方自治体との国際化に関する連携

- ①見舞金給付
②学生納付金貸与制度
③ところどころからの元気サポート
④暮らしの法律相談
⑤損害賠償保険
⑥備蓄食の購入
⑦健康サポート制度(インフルエンザ予防接種補助等)
⑧在籍管理等の強化
⑨日本人学生との交流
⑩学生共済会の充実

4 施設整備関係

- (1)9号館(新実験棟)新築工事、土木建築実験室解体
(2)津田沼講義室AV設備更新
(3)新習志野1号館1102

- (1) 公開講座
- (2) 産官学連携協議会関係
- (3) その他の産学連携
- (4) 県内地域との包括的連携協定の締結
- (5) ちばSDGsパートナーへの参加
- 6 法人管理・運営関係
 - (1) 創立80周年関連事業の実施
 - (2) ガバナンス・コードの策定・運用管理
 - (3) 化学物質等の管理強化
 - (4) SD活動の充実
 - (5) ライフプランセミナーの実施
 - (6) 衛生委員会の取り組み
 - (7) 新型コロナウィルスワクチン及びインフルエンザワクチン職域接種の実施
 - (8) 輝く女性の活躍を加速する男性リーダーの会行動宣言の取り組み
 - (9) 統一化した事務システムによる事務業務の効率化
 - (10) 基幹ネットワークのセキュリティ強化
 - (11) 無線LANの安定稼働
 - (12) 情報セキュリティ教育の充実
 - (13) 公的研究費等の監査の実施
 - (14) 自己管理型点検評価チェックシステムの実施
 - (15) 公益通報制度の充実
- 7 新型コロナウイルスに関連した本学の対応について
 - (1) 大学への入構
 - (2) 建物・講義室
 - (3) 学生食堂
 - (4) 授業・研究室
 - (5) コンピュータ演習室
 - (6) 学生寮
 - (7) 学費・学生生活などへの学生支援
 - (8) 職域接種及びインフルエンザ

8 財務の概要

(1) 教育活動収支
 ①教育活動収入計176億1000万円(前年度比2億1200万円増 前年度比5400万円増)
 ②教育活動支出計167億8600万円(前年度比3億3600万円減 前年度比7600万円減 前年度比7億8700万円増)

a. 人件費は、予算比1200万円減、前年度比では退職金などの減少により2700万円減となった。人件費比率は41.7%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(47.1%)に比べ、引き続き良好な水準となった。

b. 教育研究経費は、ほとんどの科目で予算額を下回り、予算比2億8400万円減となった。前年度比では委託費、奨学

0万円減、教育研究経費5億8800万円増、奨学1億400万円増、奨学厚生費1億3400万円増、委託費3億2800万円増、管理経費2億2700万円増

主な内訳：光熱水費2500万円増、福利厚生費6500万円増、広報費6100万円増、報酬・手数料3800万円増

(6)基本金組入前当年度収支差額15億3100万円(予算比5億7100万円増 前年度比10億5100万円減 事業活動収支差額比率8.4%)

(7)基本金組入額500万円

(8)当年度収支差額は、前年度収支差額は15億2600万円の収入超過となった。翌年度の繰越収支差額は、前年度繰越収支差額を合わせると、13億1500万円の支出超過となった。

(9)今後の課題
 今後引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

厚生費、光熱水費等の増加により5億8800万円増となった。教育研究経費比率は40.0%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(36.3%)に比べ若干高い値となった。

c. 管理経費は、予算比4100万円減となったが、前年度比では福利厚生費などの増加により2億2700万円増となった。管理経費比率は10.6%で、理工系他複数学部を有する私立大学の平均値(5.9%)と比べ若干高いが、今後更なる経費圧縮に努めていく。

(2)教育活動外収支
 教育活動外収入計は、有価証券の受取利息・配当金などにより、5億6900万円となった。教育活動外支出はなし。

(3)特別収支
 特別収入計は、有価証券売却差額で2300万円、現物寄付で8800万円、施設設備補助金で3400万円、あわせて1億4500万円となった。

特別支出計は、前年度比で増加となった。主な要因は次のとおり。

人件費2700万円減
 主な内訳：教員人件費8600万円増、退職金1億1400万円減

資金収支計算書
 令和4年4月1日から令和5年3月31日まで
 (単位：円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	14,810,000,000	14,909,548,030	△99,548,030
手数料収入	245,000,000	251,647,357	△6,647,357
寄付金収入	284,500,000	298,137,822	△13,637,822
補助金収入	1,106,000,000	1,111,567,145	△5,567,145
資産売却収入	22,600,000	22,651,729	△51,729
付随事業・収益事業収入	662,200,000	666,308,449	△4,108,449
受取利息・配当金収入	558,000,000	569,289,411	△11,289,411
雑収入	324,100,000	407,008,074	△82,908,074
前受金収入	2,722,000,000	3,837,175,522	△1,115,175,522
その他の収入	8,049,700,000	10,329,959,397	△2,280,259,397
資金収入調整勘定	△6,013,800,000	△6,140,624,928	126,824,928
前年度繰越支払資金	15,081,600,000	15,081,672,688	
収入の部合計	37,851,900,000	41,344,340,696	△3,492,440,696

支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	7,592,400,000	7,564,132,400	28,267,600
教育研究経費支出	5,036,400,000	4,752,824,316	283,575,684
管理経費支出	1,341,600,000	1,300,967,913	40,632,087
施設関係支出	694,000,000	697,378,740	△3,378,740
設備関係支出	637,700,000	617,481,205	20,218,795
資産運用支出	6,583,800,000	7,583,213,364	△999,413,364
その他の支出	3,011,500,000	3,269,431,900	△257,931,900
資金支出調整勘定	△374,500,000	△765,271,683	390,771,683
翌年度繰越支払資金(予備含む)	13,329,000,000	16,324,182,541	△2,995,182,541
支出の部合計	37,851,900,000	41,344,340,696	△3,492,440,696

0万円減、教育研究経費5億8800万円増、奨学1億400万円増、奨学厚生費1億3400万円増、委託費3億2800万円増、管理経費2億2700万円増

主な内訳：光熱水費2500万円増、福利厚生費6500万円増、広報費6100万円増、報酬・手数料3800万円増

(6)基本金組入前当年度収支差額15億3100万円(予算比5億7100万円増 前年度比10億5100万円減 事業活動収支差額比率8.4%)

(7)基本金組入額500万円

(8)当年度収支差額は、前年度収支差額は15億2600万円の収入超過となった。翌年度の繰越収支差額は、前年度繰越収支差額を合わせると、13億1500万円の支出超過となった。

(9)今後の課題
 今後引き続き財務基盤の安定をはかるため、次のような課題に取り組んでいく。

特別支出計は、図書処分差額及び建物処分差額で800万円となった。

(4)事業活動収入計183億2400万円(予算比2億3400万円増 前年度比2億6100万円減)

事業活動収入計は、前年度比で減少となった。主な要因は、教育活動収入の付随事業収入1億1200万円減及び雑収入1億7000万円減、教育活動外収入のその他の教育活動外収入2億900万円減、特別収入の資産売却差額2億1000万円減などによる。

(5)事業活動支出計167億9400万円(予算比6億3600万円減 前年度比7億9000万円増)

事業活動支出計は、前年度比で増加となった。主な要因は次のとおり。

人件費2700万円減
 主な内訳：教員人件費8600万円増、退職金1億1400万円減

令和5年度千葉工業大学学生共済会収支予算
 (単位：円)

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
1. 会費収入	24,000,000	1. 支払保険料	27,000,000
2. 入会金収入	4,600,000	2. 給付金	2,000,000
3. 受取利息	2,500,000	3. 貸与金	10,000,000
4. 貸付金回収収入	8,000,000	4. 委託費	5,000,000
5. 手数料収入	700,000	5. 消耗品費	3,000,000
		6. 通信費	30,000
		7. 印刷費	20,000
		8. 会議費	150,000
		9. 支払手数料	300,000
		10. 事務費	30,000
小計	39,800,000	小計	47,530,000
前年度繰越金	15,325,683	次年度繰越金	7,595,683
総合計	55,125,683	総合計	55,125,683

令和4年度決算報告書
 貸借対照表
 令和5年3月31日
 千葉工業大学学生共済会
 (単位：円)

資産の部		正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
普通預金	15,328,683	預り金	3,000
定期預金	125,000,000	共済基金	205,000,000
貸付金	42,218,547	積立金	55,000,000
投資有価証券	300,000,000	貸付充当金	42,218,547
		学費貸与準備金	165,000,000
		次年度繰越金	15,325,683
合計	482,547,230	合計	482,547,230

令和4年度収支決算書
 自 令和4年4月1日 : 至 令和5年3月31日

I 収入の部 (単位：円)

科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 会費収入	24,000,000	25,152,500	1,152,500
2. 入会金収入	4,600,000	4,872,000	272,000
3. 受取利息	2,500,000	2,542,084	42,084
4. 貸付金回収収入	10,000,000	10,488,386	488,386
5. 手数料収入	1,000,000	754,719	-245,281
6. 学費貸与準備金取崩収入	0	0	0
7. 積立金取崩収入	0	0	0
8. 当期小計	42,100,000	43,809,689	1,709,689
9. 前年度繰越金	29,151,650	29,151,650	0
10. 当期収入総計(A)	71,251,650	72,961,339	1,709,689

II 支出の部 (単位：円)

科目	予算額(①)	決算額(②)	対予算差額(②-①)
1. 支払保険料	25,000,000	24,321,345	-678,655
2. 給付金	2,000,000	1,401,000	-599,000
3. 貸与金	10,000,000	1,431,250	-8,568,750
4. 委託費	7,200,000	7,178,600	-21,400
5. 消耗品費	3,000,000	2,970,000	-30,000
6. 通信費	50,000	12,960	-37,040
7. 印刷費	50,000	0	-50,000
8. 会議費	100,000	106,904	6,904
9. 支払手数料	400,000	212,253	-187,747
10. 事務費	50,000	1,344	-48,656
11. 寄付金支出	20,000,000	20,000,000	0
12. 学費貸与準備金組入支出	0	0	0
13. 共済基金組入支出	0	0	0
14. 積立金組入支出	0	0	0
15. 当期小計(B)	67,850,000	57,635,656	-10,214,344
16. 次年度繰越金(A)-(B)	3,401,650	15,325,683	
17. 当期支出総計	71,251,650	72,961,339	1,709,689

注) 共済会の会計では、継続的に資金の収支を確認するため、金額がゼロの科目について省略することなく記載している。

学生共済会 予算、決算を承認

が、不測の事態を考慮し200万円を計上した。なお、新サービスの導入に伴い「暮らしの身近な法律相談」は廃止した。

● 学費貸与金
 学費貸与金支出額は、昨年度143万円程度であったが、令和5年度については申請書類を簡素化したことを踏まえ100万円を計上した。

● 委託費
 現状の課題となっている学生のメンタルケアに重点を置き、悩みに応じてカウンセラーを選択できる「オンラインカウンセリングサービス」を新たに導入した。これまでのところからの元気サポート」の継続に係

● 収入の部
 受取利息
 投資有価証券から発生する利息として250万円を計上した。

● 前年度繰越金
 1532万5683円を計上した。

● 支出の部
 給付金
 給付金支出金額は、昨年140万円だった

決算

令和4年度の学生共済会決算も同理事会で異議なく承認された。決算の概要は次のとおり。

収入の部では、貸付金回収1048万円、受取利息等を併せ合計7296万円となった。今後

も返還方法や督促方法を見直しながら、回収率アップに一層力を入れて取り組みたい。

支出の部では、新型コロナウィルス禍に対する学生支援金として2000万円を大学へ寄付した。今後も保険事業の見直しや会員の健康増進につながる支援等充実したサポートができるよう共済会事業の運営に努めた

今「狭き門に優秀な学生」

5年度PPA総会開く ▶ 躍進ぶり説明



教育環境の充実や全国2位の志願者数、9割を超える就職率などで「千葉工大」ブランドが注目される中、令和5年度のPPA総会が6月24日、新習志野キャンパス体育館で開かれた。

新型コロナウイルスに伴う規制が緩和され、4年ぶりの対面開催に、保護者ら497人（ほかに委任状394人）が出席し写真右下。会場は父母たちが熱心にメモをとるなど静かな熱気に包まれた。

開会後あいさつに立った瀬尾千里会長（同左）は「PPAは昭和24年11月に設立され、来年度に75周年を迎える。保護者と教職員が協力し、他大では例をみない組織」と、学生の修学環境や課外活動の充実と援助、文化的資質の向上を図る本学独自の後援会組織の意義を改めて強調した。

変革能力が必要

大学側より、瀬戸熊修理事は、コロナ禍でも対面授業を重視してきた本学の取り組みを紹介した上で「2023年度の志願者数は、3年連続で全国2位となった。狭き門をくぐってきた優秀な

令和5年度 PPA地区懇談会会場

開催時刻：13時（本学は12時30分）

地区	開催日	会場名	電話
札幌	9月2日(土)	ホテルマイステイズ札幌アスパ	011-700-2111
函館	9月3日(日)	函館国際ホテル	0138-23-5151
帯広	9月3日(日)	ホテルグランテラス帯広	0155-27-0109
八戸	9月2日(土)	八戸グランドホテル(TKP)	0178-46-1234
盛岡	9月9日(土)	ホテルメトロポリタン盛岡	019-625-1211
仙台	9月10日(日)	ホテルJALシティ仙台	022-711-2580
秋田	9月10日(日)	秋田キャッスルホテル	018-834-1141
山形	9月3日(日)	ホテルメトロポリタン山形	023-628-1111
酒田	9月2日(土)	ホテルリッチ&ガーデン酒田	0234-26-1111
会津	9月9日(土)	ホテルニューパレス	0242-28-2804
郡山	9月10日(日)	郡山ビューホテル	024-924-1111
いわき	9月2日(土)	いわきワシントンホテル	0246-35-3000
水戸	9月3日(日)	水戸京成ホテル	029-226-3111
土浦	9月2日(土)	ホテル日航つくば	029-852-1112
潮来	9月2日(土)	潮来ホテル	0299-62-3130
宇都宮	9月9日(土)	ホテルニューイタヤ	028-635-5511
小山	9月10日(日)	小山グランドホテル	0285-24-5111
高崎	9月10日(日)	高崎ワシントンホテルプラザ	027-324-5111
さいたま	9月9日(土)	ロイヤルバインズホテル浦和	048-827-1111
新潟	9月9日(土)	ホテルオークラ新潟	025-224-6111
長岡	9月10日(日)	ホテルニューオータニ長岡	0258-37-1111
富山	9月2日(土)	ホテルグランテラス富山	076-431-2211
甲府	9月9日(土)	ホテル披露館	055-237-1331
長野	9月3日(日)	ホテルJALシティ長野	026-225-1131
松本	9月10日(日)	アルピコプラザホテル	0263-36-5055
上田	9月2日(土)	上田東急RE1ホテル	0268-24-0109
静岡	9月2日(土)	CSA貸会議室	054-269-5070
浜松	9月3日(日)	オークラアクティシティホテル浜松	053-459-0111
沼津	9月3日(日)	沼津リバーサイドホテル	055-952-2411
名古屋	9月10日(日)	サイプレスホテル名古屋駅前	052-571-2221
大阪	9月9日(土)	大阪新阪急ホテル	06-6372-5101
広島	9月10日(日)	リーガロイヤルホテル広島	082-502-1121
松山	9月3日(日)	ホテルマイステイズ松山	089-913-2580
高知	9月2日(土)	高知プリンスホテル	088-883-2323
福岡	9月9日(土)	オリエンタルホテル福岡	092-461-0170
大分	9月10日(日)	レンブラントホテル大分	097-545-1040
宮崎	9月2日(土)	ホテルJALシティ宮崎	0985-25-2580
鹿児島	9月3日(日)	SHIROYAMA HOTEL Kagoshima	099-224-2211
那覇	9月9日(土)	メルキュールホテル沖縄那覇	098-855-7111
本学	9月24日(日)	津田沼校舎2号館3階大教室	047-478-0209

学生ばかりで、大変誇らしく思っている」と強調。惑星探査や未来ロボット技術などの成果に加え、日本初のアンチエイジングリナリー（脱専門性研究施設「変革センター」を含めた教育・研究環境の充実によって「いかに本学の学生がさまざまな企

業から求められているのか理解できる」とアピールした。

引き続き、松井孝典学長の逝去で職務代行を務めた佐波孝彦副学長は「3年にわたるコロナ禍での自粛生活は、社会生活に大きな変化をもたらした。リモートだけで仕

事をするには「長一短あるかと思うが、世界中どこにいても高度な仕事ができることを意味する。今後は、答えのない問いに対して自分なりの考えを導き出す能力、今までにないものを構築する能力、今あるものを変えていく能力を持つこと

が必要だ」と訴えた。議事は、令和4年度事業報告・決算報告・監査報告と5年度の事業計画・予算がいずれも全会一致で承認された。事業計画は、国際交流などをコロナ禍前の水準に回復させる学生奨学支援費の拡充が認められ、PPA地



著者 応用化学科の橋本和明教授、柴田裕史教授
発行 三共出版
価格 2860円（税込み）

セラミックス材料科学

非金属なのに結合力が強いセラミックスの可能性を、骨組織の代替バ

セラミックスを専門とする橋本教授と、物質の界面デザインを追究する柴田教授が、理系の学生用に共著した。

固体化学の基礎をさらった後、セラミックスの特徴▽その構造▽製造方法▽高性能セラミックスについて▽生命科学と

環境を壊さず生かす材料としてのセラミックスを、学生たちに理解してほしいと願う。160ページ。

千葉工業大学同窓会創立75周年記念祝賀会が令和5年6月3日（土）にJR錦糸町駅からほど近い東武ホテルレバント東京で開催された。私は当日、受付を担当した。その際に、先輩諸氏がお元気でいることもできることながら、全員が開催時間までに遅刻なく出席されたことに、率直に言って驚かされた。本学での講義特に実験演習での出席に関する教育の賜物だろうかと勘繰ってしまった。

当日、他の同窓生と共にこれまでの千葉工業大学の歴史を振り返り、また会場に飾られた各同窓会支部の名前の入った旗を見た。日本全国に広がる同窓生の多さに、改めて旧制大学としてスタートした本学の歴史の長さを実感した。

在学生にとっては同窓生に芝生で餌を食べる可愛らしい姿が見られますが、夕方になると豹変します。

郊外から群れが黒い塊となって駅前に飛来し、一万匹を超える数がねぐらに集まります。猛禽類に襲われない街中で、風も防げるビルに囲まれた立地として津田沼は彼等に選ばれた訳です。しかし津田沼が校内に入り込む事は騒音や汚れの原因となる為、施設部で対策しており、鷹の置物や鳴き

生の存在はなかなか見えにくいかもしれない。今は3年生後半から実習が始まる就職活動の際に、各企業に千葉工業大学の卒業生がいることが、大きな力になっている。またPPA地区懇談会で、59ある同窓会支部の方と就職に関する情報交換を実施している。在学生諸君にも卒業後には同窓会活動に積極的に御参加頂きたいと願う。

情報工学科
藤田 茂

区懇談会を別表の日程で開催することも決まった。さらに5年度の役員と評議員を選任した。役員は次のとおり（敬称略）。

▽会長 瀬尾千里（未来ロボティクス学科3年の保護者）▽副会長 橋本淳（経営情報科学科2年の保護者）▽同 鈴木進（教育センター教授）▽監事 篠原善子（情報工学科3年の保護者）▽同 村上利幸（経営情報科学科准教授）

総会後は恒例の学科懇談会と個別面談が行われ、父母たちは各学科の教員と日頃の取り組みや子女の勉強ぶり、進路などについて話し合っていた。

また、総会に先立ってTDK（株）人事部採用課の遠藤浩紀課長が「エレクトロニクスメーカーでのキャリア形成と求める人材についてを講演した。

編集だより

さわやかな甘さ、みずみずしくてシャキシャキとした独特の食感が魅力の「なし」は、カロリも低く、食後のデザートに最適な果物だ。

桃が世界一大好きといううちの部長に比べると、私の梨愛は、真夏のどがカラカラでも冷たいお茶よりは「なし」！お気に入りのカウチでゆったりくつろぐ次に「なし」と中途半端で申し訳ないが、それでも果物の中では上位を誇る好物といえる。

タイムリーなことに、千葉県特産「船橋のなし」のパッケージデザインを、本学の学生がデザインしたというニュースが！「既存の果物の箱ではあまり見られない方向性にまとめた実験的な

デザイナーに仕上げたので、少し賭けのような感覚も」と本人談。

船橋市内では梨の出荷は今年から始まる。今年は雨が少なく日照りが良かったこともあり、例年になく甘く美味いらしい。大好きな梨を堪能するのほもちろんだが、学生の作品である「なしの箱」を、ぜひ、手に取ってみたいものだ。

入試広報部
大橋 慶子